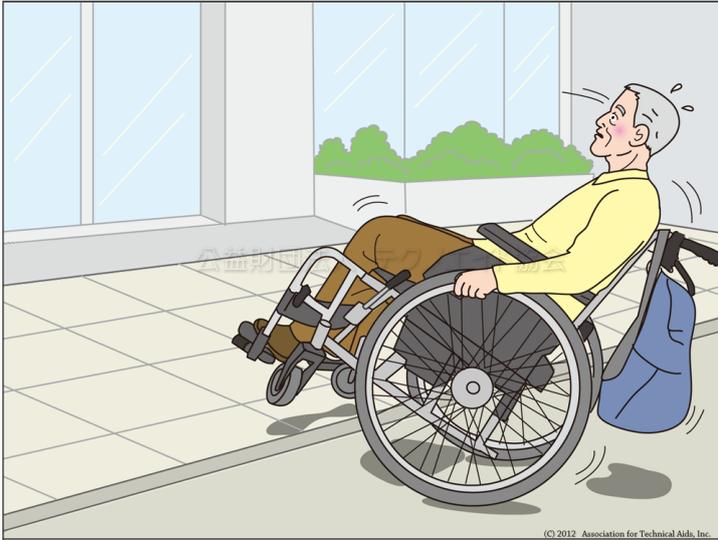


Case : 3

わずかな段差を上ろうとして、後方へ転倒しそうになる

場面の説明

手押しハンドルに重い荷物をかけて車いすで移動する場合、段差や上り坂を移動しようとする、重心が後方にかかりやすくなり、後方に転倒しそうになった



利用シーン	 移動  外出
主な利用場所	 玄関  段差・縁石  坂道
介護保険の種目	 車いす
分類コード (CCTA95)	122106 (後輪駆動式車いす)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

手押しハンドルに重い荷物をかけて車いすで移動する場合、段差や上り坂を移動しようとする、重心が後方にかかりやすくなり、後方に転倒しやすくなります。介助者が後方にも、利用者と車いすの重みに耐えかねて一緒に転倒することもあります。手押しハンドルに重い荷物をひっかけない、または転倒防止装置が装着されている車いすを選ぶ等の安全対策が必要です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：手押しハンドルに重い荷物をかけたまま段差や上り坂を移動しようとした
- モノ：転倒防止バーがなかった
- 環境：車いすが後方重心になる段差や上り坂があった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 3

わずかな段差を上ろうとして、後方へ転倒しそうになる

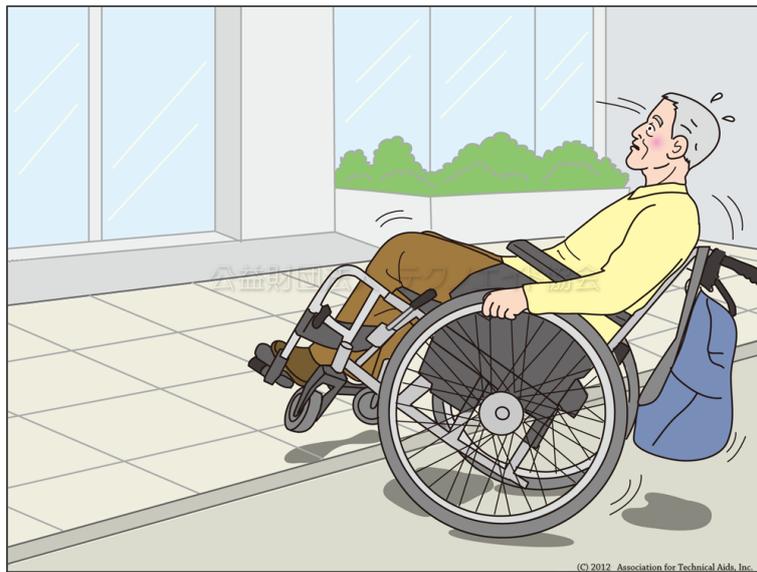
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

手押しハンドルに重い荷物をかけて車いすで移動する場合、段差や上り坂を移動しようとする時、重心が後方にかかりやすくなり、後方に転倒しそうになった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ